



●福祉パレード式典の様子



第45回館林・邑楽地区福祉パレード 共生社会の実現を

9月5日(火)、板倉町での式典をスタートに、館林・邑楽地区の福祉パレードが行われました。このパレードは9月の知的障害者福祉月間に合わせて毎年行われています。板倉町の式典では、約70名が参加し、板倉町療育父母の会の高野政樹会長は、「住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう引き続き寄り添った支援をお願いします」とメッセージを伝え、共生社会の実現を訴えました。

●毎回始まる前に血圧のチェックをします



おいしく楽しく高血圧予防 高血圧予防・改善チャレンジ

9月12日(火)に、北部公民館で高血圧予防・改善チャレンジの第4回目(全7回)が開催されました。この教室は東洋大学と共同で行われており、この日も3人の大学生がスタッフとして参加していました。教室に参加した皆さんは、減塩食の試食や、「調味料は食卓おかない」「醤油はかけずにつけて食べる」など、それぞれの家庭で気をつけることを共有し、減塩を続けるコツを学びました。

新聞から情報を読み解く 板倉町教職員全体研修会

8月24日(木)、中央公民館で町内小中学校の教職員90人が、上毛新聞社の子安 悟氏を講師に迎え、新聞の役割について学びました。演題は「情報は玉石混交～NIE*の魅力 困ったときの紙頼み」で、インターネットなどからの虚偽情報は拡散しやすく、新聞を活用して真実を見抜くことをしてほしいと講演しました。

*NIE (Newspaper in Education)新聞を教材として取り入れること。



●講義に真剣に耳を傾ける小中学校の先生たち

痛み改善教室 痛みがある時の生活の工夫

9月7日(木)、中央公民館で痛み改善教室が開催されました。会場は74名のかたが、県立県民健康科学大学の高井ゆかり教授の話を熱心に耳を傾けました。高井教授は運動や健康的な生活習慣によって、痛みのとらえ方や感じ方を変化させる事で痛みが楽になる事を説明しました。参加した小 薬 康幸さんは「ウォーキングをしているが、今日の話を聞いて、続けていきたいと思った」と話してくれました。



●受講者にわかりやすく説明する高井教授

●この日一番難しいクマに挑戦する子ども達



上手にできるかな バルーンアート教室

9月9日(土)、板倉町児童館でバルーンアート教室が開かれ、22名の参加者が東洋大学の大道芸サークル「PASTIME」(パスタタイム)のお兄さん、お姉さんにウサギやクマ、日本刀などの作り方を教えてもらいました。

最初は風船をひねるのも怖々といった子ども達でしたが、だんだんと慣れてきた様子で、時折風船が割れても怖がらず次々と作品づくりにチャレンジしていました。

参加した根岸愛美さん(大字板倉)は「はじめてだったけど楽しかった。家に持って帰って遊びたい」と話してくれました。



●完成した日本刀を見せてくれました



●お兄さんと一緒にうさぎづくり

第17回グラウンドゴルフ大会 ナイスショット!

9月8日(金)、板倉中央公園芝生広場で板倉町老人クラブ連合会主催によるグラウンドゴルフ大会が開催されました。参加者は約270人。大会当日は昼から雨となりしまい、午前中みの開催となりました。

優勝は「あけぼのみどり会A」、準優勝は「泉野エバークリークラブA」、第3位は「あけぼのみどり会B」という結果でした。



●力強くスイングする参加者